



# CFP日本フォーラム新パンフレット 27g表示までの道のり

2011年2月16日

株式会社サンエー印刷

吉川昭二

s-yoshikawa@suna.co.jp

# 会社が目指す3つの柱



## 品質保証

- 各工程での品質保証で確かな製品。



## ロハスプリンティング

- お客様の環境負荷低減のお手伝い。



## ワンストップ・サービス

- デザインから、納品まで一貫したサービス。

# 「環境」の安心・安全



- お客様に最適なロハスプリンティングをご提案しています
  - 常に新しい環境配慮型印刷に取り組んでいます
  - 工場での環境負荷低減に努めています

ローカーボン社会に  
向けて



# SUN-A LOHAS PRINTING



- 水なし印刷方式



環境にやさしいだけじゃない。  
より高品質な印刷を実現する、  
エコ&ピースな選択。

弊社印刷番号 829

- 森林認証紙



自然の恵みを伝え続けるために。  
サンエー印刷ははじめています、  
森を守り、育てる、紙のエコロジー。

Cert no. SGS-COC-2693

- ノンVOCインキ



人にも地球にもやさしい

100%植物油インキ。

限りある資源を守ります。

- ライスインキ



米ぬか油を原料とした

世界初・日本発の

印刷インキ

サンエー印刷開発製品

# ライスインキの特徴 (大豆油インキと比較して)



- 輸送マイルージが低減される(地産地消に叶う)
- 大豆は本来の食糧として確保  
米そのものは食糧となり米ぬかは副産物
- 捨てられている米ぬかを再活用し廃棄物削減

CO<sub>2</sub>削減

食糧確保

廃棄物削減  
循環型形成

# 環境面での新しい顧客サービス



## カーボンフットプリント (CFP)の取組み

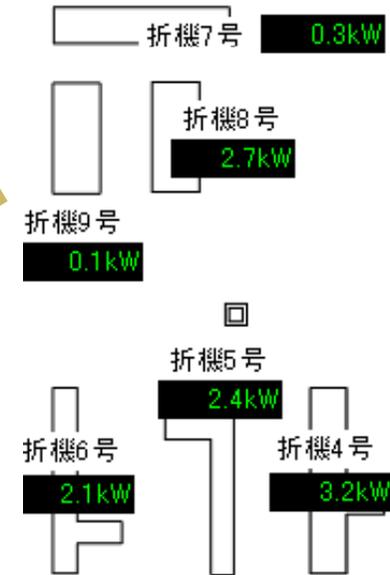
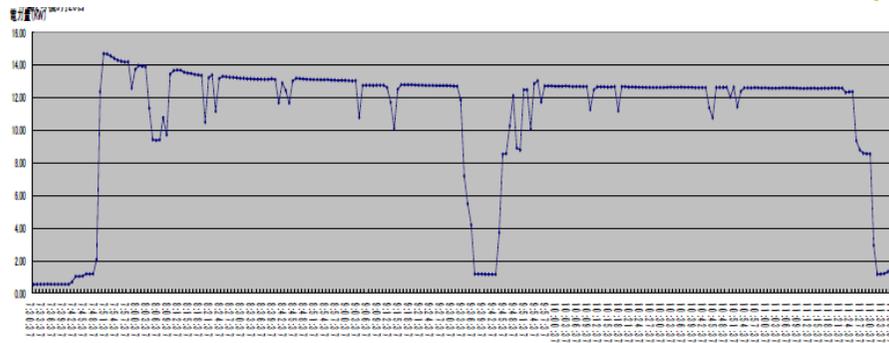
- 製品 (印刷物) の環境負荷をCO2で評価
- その上でCO2削減の経営が求められる
- 印刷物の環境負荷
  - 用紙、版、インキなどの素材 (素材メーカー値)
  - 工程上のエネルギー (電気・LPG) を実測
- CFP見積書・CFP計算書をご提示
- さらにカーボンオフセットのご提案まで

# 印刷物作成のCFP



- 工場機械の電力量を測定
- 専用ソフトでCO2量を算定

機器の電力量を1分ごとに24時間計測



# CO2の見える化システム

工場の各機器に電力量計設置



小台工場  
枚葉印刷機 6 台、CTP2 台、  
加工 16 台、オンデマンド機 4 台  
合計 28 台 41 ポイント



埼玉工場  
オフ輪印刷機 3 台、CTP2 台  
合計 5 台 20 ポイント



電力量計

業務改善  
省エネ情報提供

原材料購入  
データ

サーバ  
データ集積

CO2  
見積作成  
エンジン

営業部

CFP 見積書  
CFP 計算書  
カーボンオフセット

お客さま

2009年12月より計測開始

# フォーラム・パンフレットのCFP



- A4をDM折(三つ折)カラー印刷・10,000部
- 原材料調達段階(材料輸送を含む)
  - 用紙、版・現像液、インキ、湿し水
- 生産段階
  - DTP、印刷、加工の電力(間接含む)←ほぼ実測
  - 各工程からの廃棄・リサイクル(輸送含む)

1次データを中心に  
シ2・シ3で算出



# 検証を受審して……

- 2010年11月26日 フォーラム様と合同で
  - サンエー印刷・フォーラム様で6.5時間
  - とにかく細かい = カットオフされない？
  - 例：流通段階(材料の廃棄・リサイクル含む)
    - 帯封クラフト紙(製造・調達輸送、廃棄リサイクル輸送)  
0.067g-CO<sub>2</sub>
    - ストレッチフィルム(同上)  
0.989g-CO<sub>2</sub>

12行の計算を要する  
全体の構成比3.9%



# 印刷物の検証方式の課題



- 印刷物はすべてが受託でのオーダーメイド
- 1点ごとに違う仕様の印刷物では  
1点ごとに検証が必要になる
  - このシステムでその都度検証を受けるのは困難
- 中間財は印刷会社が、宣伝用…はお客様
  - お客様を巻き込んでの検証・パネル対応になる
- 時間がかかる
  - 通常の商業印刷物制作スケジュールでは無理

# 算出根拠

- 印刷物の過半を占める用紙等の原単位
  - 業界が対応できていないことで不安定な数値
  - この時点でスタートすると、将来データの妥当性・継続性に疑問が残る

以上のことから

**印刷物の検証方式は見直されるべき  
と考える**